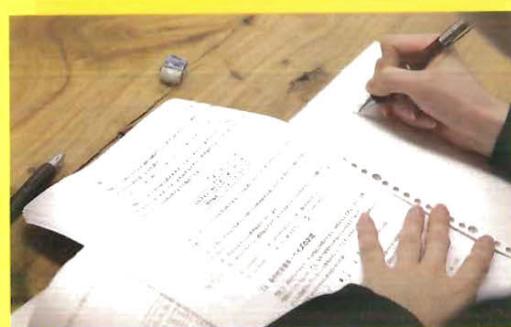


# 社会人のための数学教室 すうがくぶんか



数学教室は社会人が学びやすいように平日の19時から、あるいは土日に開講している。一方的に講師が話すのではなく、受講生がお互いに議論する場も大事にしている。リラックスして学べるのがいい。テキストや教え方は、数学教室で学んで終わではなく、その後も学び続けられるように工夫している。

**数** 学と聞いただけで苦い記憶がよみがえる人もいるだろう。でも、もうちょっとできたら好きになれたかもしれないのにと思わないだろうか。そんな社会人のために開いているのが「大人のための高校数学入門」だ。

この入門講座は「社会人のための数学教室」のなかの一つのコースだ。ほかに「初級統計学」や「金融工学入門」といった仕事に直結しそうなコースもそろえているが、この教室ならではといえればやはり高校数学を学び直せるコースだらう。

教室を運営する(株)すうがくぶんかの代表で、かつて東京大学医学部で数学教育を専攻した瀬下大輔さんはコース開設の理由をこう話す。

「学生時代、文系の学生が自然科学に興味があるにもかかわらず、数学ができないために勉強をあきらめて

高校数学入門は毎週1回2時間のペースで進み、1年かけて修了。数学の世界、因数分解から入り、三角関数、数列、ベクトル、微分、積分など数I・II・IIIの範囲を網羅する。現在15人ほどが受講中だ。入門編のあとには完成編が控え、こちらは数IIIと大学数学を少しだけかじる。

瀬下さんは「微分・積分をやらないと本当に数学を味わったことにならない」と言う。

「実はですね、高校に入つてなぜかんだから微分・積分抜きの数学は、たとえば素振りばかりしていく、実際にボールを打たせてもらえない状態に等しいんです」

微分・積分が理解できると統計などを役立つそうだ。これまで受講した人は、10代から80代までと幅広い。

高校時代、どこかでつまずいた人が多く、すでに入門編を終えた大手コンサルタント会社の30代のビジネスマンもその一人。

「高校のテストで赤点を取るなど数学がわかつたほうが有利です」

高校数学入門は社会人が学びやすいように平日の19時から、あるいは土日に開講している。一方的に講師が話すのではなく、受講生がお互いに議論する場も大事にしている。リラックスして学べるのがいい。テキストや教え方は、数学教室で学んで終わではなく、その後も学び続けられるように工夫している。

数学がわかつたほうが有利です」

高校数学入門は社会人が学びやすいように平日の19時から、あるいは土日に開講している。一方的に講師が話すのではなく、受講生がお互いに議論する場も大事にしている。リラックスして学べるのがいい。テキストや教え方は、数学教室で学んで終わではなく、その後も学び続けられるように工夫している。

N



DATA

●コース名  
大人のための高校数学入門  
(毎週日曜日・1年間)

●受講料  
月額1万円(ほかにテキスト代)

●申し込みの時期  
随時

●住所  
東京都新宿区西新宿7-4-4  
武蔵ビル5F Hapon 新宿

●電話番号  
03-6276-9978

●ウェブサイト  
<http://sugakubunka.com/>